

# “京都大学×ダイキン” で拓く 次世代社会の 創造

2021年3月、京都大学とダイキン工業は、2013年に締結し進めてきた「組織対応型包括連携協定」のもとでの共同研究開発テーマを、コロナ禍による新常態の時代における、両組織に共通する問題意識を踏まえて、「ヘルスケア」「環境」「エネルギー」「アジア、アフリカの空調文化」などの観点から見直し、「5つの協創プログラム」として再構築しました。

ダイキン工業として目指す「環境と空気の新たな価値を提供し、サステナブル社会への貢献とグループの成長を実現する」というビジョンや、各プログラムでチャレンジしようとしていることを知って頂くとともに、「共同研究」や「GAPファンド」といった複数の方法により、京都大学の研究シーズのいち早い社会実装を目指す、これからの産学連携のあり方を、京都大学とダイキン工業が議論するまたとない機会ですので、ぜひご参加ください。

## スピーカー紹介



阿曾沼 慎司 氏  
京都大学  
オープンイノベーション機構  
機構長



松田 文彦 氏  
京都大学 医学研究科 教授



小椋 大輔 氏  
京都大学 工学研究科 教授



米田 裕二 氏  
ダイキン工業株式会社  
常務執行役員  
テクノロジー・イノベーション  
センターセンター長



河原 克己 氏  
ダイキン工業株式会社  
執行役員  
テクノロジー・イノベーション  
センター 副センター長



樋口 雅一 氏  
京都大学 iCeMS 特定准教授  
株式会社Atomis 創業者

庄境 誠 氏  
京都大学 オープンイノベーション機構  
統括クリエイティブ・マネージャー

三谷 太郎 氏  
ダイキン工業株式会社  
テクノロジー・イノベーションセンター 副センター長  
兼 CVC室長

配川 知之 氏  
ダイキン工業株式会社  
テクノロジー・イノベーションセンター主任技師

武田 信明 氏  
ダイキン工業株式会社  
テクノロジー・イノベーションセンター 課長

**日時**：2021年12月15日（水）

**16:30～18:00** ※会場参加者のみ、18:00～18:30に  
ネットワーキングを予定

**方式**：ハイブリッド ※状況によってはオンラインのみ  
となる場合がございます。

**会場**：京都大学

国際科学イノベーション棟5階  
シンポジウムホール

**定員**：会場参加 120名（先着）

オンライン 500名（先着）

**参加費**：無料

**申込締切**：2021年12月13日（月） 17:00

**申込詳細**：<https://www.oi.kyoto-u.ac.jp/news/1415/>



主催：京都大学オープンイノベーション機構  
ダイキン工業株式会社

お問い合わせ：京都大学×ダイキン工業  
包括連携運営事務局

TEL: 075-753-7765

E-mail: [event1@kyodai-original.co.jp](mailto:event1@kyodai-original.co.jp)

（本イベントの一部業務は、京大オリジナル株式会社が  
京都大学オープンイノベーション機構より委託を受け、  
実施しています）

総合司会：康 紗貴

(ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター)

16:30～16:35 はじめに

康 紗貴 (ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター)

16:35～16:50 空調メーカーダイキンが考える3つの成長戦略

米田 裕二 (ダイキン工業株式会社 常務執行役員 テクノロジー・イノベーションセンター センター長)

16:50～17:35 “京都大学×ダイキン”の包括連携協定にかける思い

・京都大学との協創プログラムについて

配川 知之 (ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター主任技師)

・居住環境の解析による空気の価値化

小椋 大輔 (京都大学 工学研究科 教授)

・大規模ゲノムコホートの活用による環境と空気の新たな価値の創造

松田 文彦 (京都大学 医学研究科 教授)

・室内環境・地球環境の改善のために、多孔性配位高分子(PCP/MOF)は何ができるか？

樋口 雅一 (京都大学 iCeMS 特定准教授、株式会社Atomis 創業者)

・ベンチャー協業とダイキンGAPファンド

三谷 太郎 (ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター副センター長 兼 CVC室長)

17:35～17:55 パネルディスカッション テーマ：“京都大学×ダイキン”で拓く次世代社会の創造

阿曾沼 慎司 (京都大学オープンイノベーション機構 機構長)

米田 裕二 (ダイキン工業株式会社 常務執行役員 テクノロジー・イノベーションセンター センター長)

河原 克己 (ダイキン工業株式会社 執行役員 テクノロジー・イノベーションセンター 副センター長)

三谷 太郎 (ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター副センター長 兼 CVC室長)

<モデレーター>

17:55～18:00 協創プログラムへの参画のご案内～京都大学オープンイノベーション機構、各プログラムの窓口のご紹介～

庄境 誠 (京都大学オープンイノベーション機構 統括クリエイティブ・マネージャー)

武田 信明 (ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター 課長)

#### 【注意事項】

■Zoomの仕様や使い方に関するお問い合わせには、お答

えしかねます。また、お客様の環境等が原因で発生した、  
視聴できないといったトラブルにつきましては個別の対応  
はございません。予めご了承ください。

■次の行為はお控えください。

- ・本イベントの全部又は一部を第三者に提供する行為
- ・本イベントの録音、録画、撮影、その他複製行為
- ・同時に二台以上のデバイスで本サービスを利用する行為

## 京都大学とダイキン工業の包括連携協定について

国立大学法人京都大学とダイキン工業株式会社は、2013年に「組織対応型包括連携協定」を締結し、未来を見据えたテーマの創出とイノベーションの実現に向け協業・交流を行ってきました。2021年3月に研究開発テーマが再構築された背景には、コロナ禍における新常態時代の両組織に共通する問題意識があります。新たに設定された5つの協創プログラムは以下の通りです。

- ① 空気・換気、ヘルスケア領域での新価値創造に向けたながはまコホートの活用（医工連携）
- ② 先端技術の共同研究（エネルギー・材料・建築・コールドチェーン）
- ③ 京都大学スマートテクノキャンパスプロジェクトへの参画による空調周辺での価値創造
- ④ アジア・アフリカ地域研究部局との連携による未来空調コンセプト創出
- ⑤ 京都大学発ベンチャーとの提携・連携

上記5つのプログラムを軸に、京都大学オープンイノベーション機構とダイキン工業テクノロジー・イノベーションセンター戦略室を窓口にして包括連携協定をスタートします。